

第55回全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会全国大会  
(全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会 第30回近畿ブロック大会)

## 近畿大会のご案内 (最終案内)

大会主題 個々の子どもたちの課題に合う指導や支援のあり方を考える  
～聴覚・言語障害教育の専門性を高めるために～

開催日 令和8年8月6日(木)・7日(金)

会場 8月6日 なら100年会館(奈良市三条宮前町7-1 JR奈良駅西側から徒歩約5分)  
8月7日 ホテル日航奈良(奈良市三条本町8-1 JR奈良駅直結)

主催 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会  
全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会 近畿6府県連絡協議会  
後援 (予定) 文部科学省 子ども家庭庁 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 全国都道府県教育委員会連合会  
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国特別支援学校長会 全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会  
全国国公立幼稚園・こども園長会 全日本特別支援教育研究連盟 全国特別支援教育推進連盟 全国聾学校長会  
日本言語聴覚士協会 全日本聾教育研究会 北海道言語障害児教育研究協議会 関東地区難聴・言語障害教育研究協議会  
東海四県言語・聴覚・発達障害児教育研究会 九州地区難聴・言語障害教育研究会 全国情緒障害教育研究会  
NPO法人全国ことばを育む会 日本吃音臨床研究会 日本吃音・流暢性障害学会 全国言友会 全国難聴児を持つ親の会  
奈良県教育委員会 奈良市教育委員会  
近畿教育オーディオロジー研究協議会 奈良県難聴・言語・発達障害教育研究会 大阪聴覚障がい児教育研究会  
神戸市きこえとことばの教室設置校園長会 和歌山県言語発達教育研究会  
滋賀県特別支援教育研究会 難聴教育研究部会 滋賀県特別支援教育研究会 通級・ことばの教室研究部会  
特別協賛 小川再治研究協賛会

日程

12時50分開始

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
6日	ブロック会議	全国理事会		受付	総会・関会行事	記念講演	休憩	レクチャー1	レクチャー2	一日目終了
7日	受付	発達障害2 発達障害1 聴覚障害 吃音 構音障害 講習会		昼食・休憩		発達障害2 発達障害1 聴覚障害 吃音 構音障害 分科会				二日目終了

定員 600名(教育関係者のみ、会場の都合上、申し込み順に600名までの参加とさせていただきます)  
\*当日受付は行いません、期日までに参加申込みをしてください。

参加費 5000円 イベントペイでの支払いのみ(申し込み時に参加希望の講習会と分科会名を入力してください。  
手数料は、ご負担ください。1日のみの参加でも参加費は変わりません。)

☆当日、午前6時に奈良県に気象に関する警報が発令されている場合は中止とします。中止については大会ホームページでお知らせします。なお、中止になった場合は、後日、講演会、レクチャーの動画を配信し、講習会と分科会のデータを公開します。返金はできませんのでご了承ください。

第55回全国公立学校難聴・言語障害教育研究会全国大会近畿大会を奈良にて開催いたします。

本大会では、個々の子どもたちの課題に合う指導や支援のあり方について見つめ直し、参加される方の必要に応じた研修の場が提供できるようにと考え内容を検討し、準備をすすめてまいりました。

難聴学級や通級指導教室等を担当される方が、本大会を通して指導内容や指導方法等についての専門的な知識を少しでも高められることを願っております。

全国各地から多数の方にご参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会会長 鈴木 隆弘 (東京都世田谷区立駒沢小学校長)  
近畿大会実行委員長 鍵田 幸男 (奈良市立椿井小学校長)

## 大会趣旨

通級指導教室や難聴学級の整備が進み、多様化する子どもたちの実態をとらえ、個々の課題に合うような指導が展開できるように、各地で取組が進められていることと思います。

一方で、聴覚・言語障害教育に対する指導経験が浅い担当者が増加し、聴覚・言語障害教育にかかわる基礎的な内容の研修を行う重要性が高まってきています。また、多様な内容の研修会の必要性もでてきています。

近畿地区では、京都、大阪、奈良、滋賀、兵庫、和歌山の2府4県で近畿6府県連絡協議会を形成し、全国大会の開催を担うだけでなく、平成8年より、各府県の輪番制で毎年1回近畿ブロック大会を開催するといった取り組みも行ってきました。

また、近畿では通級指導教室の設置校数が増加し、指導の対象とする子どもたちも、構音障害、吃音、聴覚障害がある子どもたちだけでなく、発達障害がある子どもたちへと広げられてきており、担当者の専門性や指導力の向上が急務となってきています。このような近畿の状況もふまえつつ、会場は奈良とするものの、近畿6府県の共催により内容の企画および運営を行うことにいたしました。

そこで、「聴覚・言語障害教育の専門性を高める」ことを大会全体の目的とし、参加される方が指導にかかわる知識、今後参考となるような指導技術や指導内容が多く得られる機会にしたいと考えています。

## 8月6日

【受付】 12:00～ なら100年会館 (大ホール)

☆ブロックごとに受付を行います。イベントペイ入金完了メールまたは入場済画面をご提示ください。

☆会場内に昼食等の持ち込みはできません。

【全難言協総会・開会行事】 12:50～

○総会：議事 (全難言協の予算と事業計画について)、近畿大会宣言採択、次期開催地あいさつ 等

○開会行事：あいさつ (全国会長・実行委員長)、来賓祝辞、来賓紹介 等

【記念講演】 13:30～15:20

演題 『難聴学級や通級指導教室の課題と対応～担当の先生方にお伝えしたいこと～』

講師 山本 晃 先生 (国立特別支援教育総合研究所)

難聴特別支援学級や通級による指導の課題を踏まえ、改善の方向性と具体策をお伝えします。特に言葉の力を育て、感性を磨く活動について実際の事例をもとに紹介します。絵日記・日記・話し合い・感情に気づく活動など、明日から取り組める指導を提案します。さらに、児童生徒の思考を深め、自分の言葉で語る力を引き出す問い掛けや方法についてもお伝えします。

【レクチャー】 15:30～17:00

レクチャー1 『ことばの教室とタッグを組んだ地域ネットワーク作り～吃音当事者から伝えたいこと～』

講師 後藤 文造 氏 (奈良言友会会長)

大学時代、ことばの教室の先生にいただいた言葉でエンパワーされました。奈良に戻り、吃音の自助グループを発足。当事者だけの活動に限界を感じ、先生方と協力して取り組みをしてきました。吃音のある子どもを真ん中において、先生方と当事者やその家族が「タッグを組んだ」実践を共有したいと思います。

レクチャー2 『「きこえない私」の人生を動かした力：～“コミュニケーションの構築”への挑戦と学び～』

講師 森本 健 氏 (全日本空輸 (株))

私は「今までの様々な経験が自分を構成している」という信念のもと、「きこえなくてもコミュニケーションをいかに取ろうとするか」という主体的な意思を常に意識し、自ら関係性を構築してきました。小・中・高・大、そして社会人という各ステージで直面した壁や葛藤、そして自分にとって必要な支援を周りに求める関係性の築き方を、これまでの経験を経て学んだことをお伝えします。

## 8月7日

**【受付】** 9:00～ ホテル日航奈良

☆受付でイベントペイ入金完了メールまたは入場済画面をご提示ください。

☆会場内に昼食等の持ち込みはできません。

**【講習会】** 10:00～12:30

\*選択制：希望される講座を選択して受講してください、講座と分科会は同一のものを選択していただいても違うものを選択していただいても結構です。

講座名	講師	講座内容
構音障害 担当 和歌山 定員 120名	『 <b>子どもの発話・構音のアセスメント</b> 』 吉田 紀子 先生 (大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科 非常勤講師 和歌山生協病院小児科 言語聴覚士)	子どもの発話・構音の問題の背景には運動や音韻発達など様々な要因があり、広い視点でのアセスメントが求められます。 苦手な音を見つけるだけでなく、その要因を探るための評価と解釈について理解を深めます。
吃音 担当 京都 定員 120名	『 <b>吃音のある子どもの多様な実態に応じた包括的な指導支援</b> 』 飯村 大智 先生 (筑波大学 人間系 助教)	吃音は言語・心理・環境にまたがる諸側面の実態が多様であることから、子どもの全体像を捉えた指導支援が求められます。本講習では将来を見据えてという点を念頭に、神経多様性やセルフアドボカシーの観点も踏まえた包括的な指導支援について検討します。
聴覚障害 担当 大阪 定員 120名	『 <b>きこえにくい子どもたちの自立活動について</b> 』 森田 雅子 先生 (元大阪府立中央聴覚支援学校長、大阪市 特別支援教育専門家チームアドバイザー)	自分自身のきこえにくい体験をふまえて、きこえにくい子どもたちが、言語力を高め、自分自身のきこえ方やきこえにくい状況を知り、きこえにくくて分かりにくい状況を解消するための方法を知り、その方法を要求することができるようにするための取り組みについて検討します。
発達障害1 担当 滋賀 定員 120名	『 <b>見立てから支援へ～通級・ことばの教室の専門性と連携の力～</b> 』 小西 喜朗 先生 (滋賀県総合教育センター教育相談員、 滋賀県発達障害支援アドバイザー)	子どもの困り感をどのように把握し理解するか。個々に応じた支援をどう組み立てるか。さらに、担任・保護者と連携し、学校で子どもをどう支えていくか。これら三つの柱をもとに、実践につながる視点と工夫を学びます。
発達障害2 担当 兵庫 定員 120名	『 <b>子どもたちのアセスメントと支援、担任との連携について</b> 』 百瀬 和夫 先生 (元関西国際大学教授 笑育 LABO 代表)	子どもたちの困り感をどうやって掴んでいくといいでしょうか。実際の子どもの姿や作品などから考えられる背景とその支援についてや、担任との連携について一緒に考えていきましょう。

**【分科会】** 14:00～16:30 選択制

分科会名	コーディネーター・レポーター	分科会内容
構音障害 担当 和歌山 定員 120名	コーディネーター 吉田 紀子 先生 (大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科 非常勤講師 和歌山生協病院小児科 言語聴覚士) レポーター 清水 祐野 (橋本市立三石小学校 ことばの教室)	『 <b>子どもが「楽しい」と思いながら、正しい発音を身につけられる教材と指導～4年間の取り組みと子どもとのやりとりから～</b> 』 主にサ行やカ行がタ行に置換していた児童が、「上手に話そうになりたい」という思いを持ち、楽しみながら取り組んだ教材を紹介します。その教材を使い、子どもたちが正しい発音を身につけていった過程を報告します。指導の工夫等について交流もしたいと思います。
吃音 担当 京都 定員 120名	コーディネーター 飯村 大智 先生 (筑波大学 人間系 助教) レポーター 貞本 理恵 (京都市立桂小学校 ことばときこえの教室) 金辻 雅子 (京都市立朱雀第八小学校 ことばときこえの教室)	『 <b>吃音のある児童の日々の指導と交流会での変容</b> 』 京都市では年に1回、吃音で通級している児童たちの交流会を実施しています。この交流会に参加した児童の日頃の指導や交流会への思いを報告します。 『 <b>吃音のある児童のグループ学習</b> 』 吃音のある子どもたちのグループ学習を実施し、個々の子どもたちが役割を持ち、交流会にも参加しました。その中の一人が卒業するにあたり、他の児童たちがお別れ会を実施しました。その経緯について報告します。

聴覚障害 担当 大阪 定員 120 名	コーディネーター 森田 雅子 先生 (元大阪府立中央聴覚支援学校校長、大阪市 特別支援教育専門家チームアドバイザー) レポーター 保下 栄見 (大阪市立扇町小学校 難聴学級) 足立 貢 (大阪市立北中道小学校 難聴学級)	『難聴学級での自立活動』 大阪市では、センター校としての難聴学級が2校あり両校とも在籍数は10名を超えています。センター校で取り組んでいる自立活動の内容を報告します。 ・きこえにくい子どもたちが言語力を高めるために指導している内容や教材を紹介します。 ・きこえにくい子どもたちが、自己認識を深めるための取り組みを紹介します。 ・情報保障として取り組んでいることを紹介します。
発達障害1 担当 滋賀 定員 120 名	コーディネーター 小西 喜朗 先生 (滋賀県総合教育センター教育相談員、 滋賀県発達障害支援アドバイザー) レポーター 堤 俊彰 (米原市立大原小学校 自閉症・情緒障害学級) 廣橋 いずみ (栗東市立金勝小学校 通級指導教室)	『通級指導教室の専門性を生かした学びと支援の架け橋』 読み書きに苦手さのある児童の困り感の背景を見立て、実態に応じた支援を行うためには、通級指導教室の専門性を生かしながら、校内の担任や支援スタッフ、家庭・関係機関との連携を進めていくことが重要です。 本分科会では、通級指導教室を軸とした校内外の連携のあり方と、家庭との共通理解を通して支援を進めた実践をもとに、児童の学び方の模索や支援の成果、今後の課題について考えます。
発達障害2 担当 兵庫 定員 120 名	コーディネーター 百瀬 和夫 先生 (元関西国際大学教授 笑育 LABO 代表) レポーター 由利 晶子 (神戸市立稗田小学校 きこえとことばの教室)	『アセスメントと通級指導、担任との連携について』 いつもぼんやりとしていて、集中することが難しく、教室で指摘されることが増え、表情を曇らせていた子のアセスメントと通級指導、担任や保護者との連携について報告します。 後半は、持参が可能な方はそれぞれの先生方が気になる子の作品(絵など写真でも可)を持ち寄り、それを見ながらその子の様子を一緒に話し合える時間を作りたいと思います。

## 参加申し込みについて

☆イベントペイでのお支払いとなります。

右のQRコードより、申込みフォームにてお申し込みください。

①申込みフォームに必要事項を回答し、支払い方法を選択してください。

\*初めに「講習会」を選択してから、アンケートに進んでください。

\*講座と分科会は同一のものを選択していただいても、違うものを選択していただいても結構です。

②支払いはクレジットカード・コンビニ決済・ペイジー決済から選択してください。参加費のほかに別途システム利用料220円のご負担をお願いします。(7月からシステム利用料が上がります。6月中の申し込みをお勧めします。)

\*入金完了メールに資料のダウンロードのためのパスワードを掲載します。

\*詳しくは大会ホームページをご覧ください。

〈大会ホームページ〉: <https://sites.google.com/e-net.nara.jp/zkng>

③申込み期間 **2026年6月1日(月)～7月17日(金)**

\*手話通訳が必要な場合は、6月30日(火)までにお申し込みください。



👉参加申込みはこちら

大会事務局

実行委員長 鍵田 幸男 (奈良市立椿井小学校長)

事務局長 田中 音栄 (奈良市立大宮小学校 通級指導教室)

《問い合わせ先》 ☆問い合わせはできるだけメールでお願いします

田中 音栄 (奈良市立大宮小学校 通級指導教室)

〒630-8115 奈良市大宮町4-223-1 Tel : 0742-33-0031

足立 貢 (大阪市立北中道小学校 難聴学級)

〒537-0025 大阪市東成区中道2-9-20 Tel : 06-6971-0440

Mail : [kinkibc2026@yahoo.co.jp](mailto:kinkibc2026@yahoo.co.jp)